

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と茨城県境町との相互協力・連携に関する基本協定の締結



【ポイント】

- 地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与するとともに、関連する学術の発展に寄与する事を目的とした協定を締結
- 自動運転バスなど地域の交通および文化・産業の振興、特色あるまちづくりに関する研究を実施
- 茨城県境町をフィールドに教育・人材育成に関する取組を実施

【概要】

- ・ 国立大学法人 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構【機構長 須田 義大】（以下「UTmobl」という）と茨城県境町【町長 橋本 正裕】（以下「境町」という）とは、相互協力・連携に関する協定を令和5年3月24日に締結しました。
- ・ この協定は、地域の課題解決に、交通・まちづくりの観点から継続的に取り組むことを目的とするものです。これにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与するとともに、関連する学術の発展に寄与することを目指します。
- ・ そのため、茨城県境町をフィールドとして、自動運転バスなどの地域の交通と、特色あるまちづくり、文化・産業の振興の関係性についての調査研究を実施するとともに、地域に根差した継続的な取り組みにより、大学・地域双方の教育・人材育成を図っていきます。

